

ヒト由来のプロテインキナーゼCδアイソザイム、再組換え

Cat. No. NATE-0623

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 プロテインキナーゼC (PKC) は、セリン/スレオニンキナーゼであり、さまざまな活性化されたホスホリパーゼの作用を通じて、ホスファチジルイノシトール二リン酸 (PIP2) およびホスファチジルコリン (PC) からDAGを生成するシグナル伝達経路によって細胞内で活性化されます。フォールボールエステルもPKCを刺激します。少なくとも11種類のPKCアイソザイムが同定されており、これらは一次構造、組織分布、細胞内局在、細胞外シグナルへの応答、および基質特異性において異なります。アイソザイムは3つのサブファミリーに分類できます。最初のファミリーのメンバーはCa²⁺およびホスホリピッドを必要とし、PKCα、βI、βII、およびγが含まれます。第二のファミリーのメンバーはホスホリピッド依存ですがCa²⁺非依存であり、PKCδ、ε、η、およびθが含まれます。第三のファミリーのメンバーはDAGまたはフォールボールエステルによって活性化されず、PKCξ、μ、およびιが含まれます。

別名 PRKCD; プロテインキナーゼC、デルタ; プロテインキナーゼCデルタ型; ALPS3; CVID9; MAY1; PKCD; nPKC-デルタ; EC 2.7.1.37

製品情報

種	人間
由来	バキュロウイルスに感染した昆虫細胞
形態	緩衝された水性グリセロール溶液; 20 mM HEPES、pH 7.4の溶液; 2 mM EDTA、2 mM EGTA、5 mM DTT、100 mM NaCl、0.05% Triton X-100、および50%グリセロール。
EC番号	EC 2.7.1.37
分子量	mol wt 74-79 kDa by SDS-PAGE
純度	>95% (SDS-PAGE)
代謝経路	アルファシグマクレインシグナル伝達、特定の生物系; アルファ6-ベータ4インテグリンシグナル伝達経路、特定の生物系; アポトーシス、特定の生物系; 細胞タンパク質のアポトーシス切断、特定の生物系; アポトーシス実行段階、特定の生物系; B細胞受容体シグナル伝達経路、特定の生物系; Ca依存性イベント、特定の生物系
機能	ATP結合; カルシウム非依存性プロテインキナーゼC活性; 酵素活性化因子活性; 酵素結合; インスリン受容体基質結合; 金属イオン結合; 非膜貫通型プロテインチロシンキナーゼ活性; シグナレオチド結合; プロテインC末端結合; プロテイン結合; プロテインキナーゼ活性; プロテインセリン/スレオニンキナーゼ活性
単位定義	1ユニットは、30°CでpH 7.4の条件下で1分間にPKCイブシロン基質ペプチドに1 nmolのリン酸を転送します。

保管・発送情報

保存方法 -70°C